※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	(学)理科演習	単位数	生物又は化学と あわせて１単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　高等学校　地学基礎（数研出版）						
副教材等	資料集：三訂版ニューステージ地学図表 問題集：改訂版 リードα 地学基礎（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

引き続き、原理・法則に基づいて理解するように努めること。さまざまな用語は、覚えるべき言葉というより「現象を『説明するための道具』」である。また、地学には物理や化学の基本的知識や公式・法則も出てくる。それらもすべて多様な地学現象を『理解するための道具』にすぎない。積極的に理解するように努めること。

具体的には、以下のことを重視して学習を進めること。

１．苦手分野を作らない！　・・・ 春休みまでに既習範囲の総復習。センサーふたたび！

２．計算問題を嫌がらない！　・・・ 中学校までの数学で学習した公式をあなどるなかれ！

３．教科書をしっかり読む！　・・・教科書はすべての基本。困ったら教科書にかえれ！

皆さんの努力に期待します。

2　学習の到達目標

・地球と地球をとりまく宇宙について関心を持ち、基本的な概念や原理・法則を理解する。
・目的意識をもって実験実習・観察に取り組み、地学的に考察する能力と態度を身につける。
・それぞれの学習事項を関連させて考え、地学的な事物・現象を総合的に理解する。
・日常生活や社会との関連にも注目し、人類と自然環境の共生について考えを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地球や地球を取り巻く環境について、科学や数学の基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を見につけている。科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	地球や地球をとりまく環境に関する事物･現象の中に問題を見いだし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物･現象について関心をもち、主体的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的･数学的に考察し表現する態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間まで	地球の環境	地球の環境と日本の自然環境 ・地球環境の変化 ・日本の自然環境	a：基本的な概念を理解し、知識を身につけている。 b:地球の環境と日本の自然環境について課題を見いだし探究し、それを通して科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c：地球の環境と日本の自然環境について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	考査	考査 ノート	課題 レポート
後期期末まで	太陽系と宇宙	太陽系と太陽 宇宙の誕生	a：基本的な概念を理解し、知識を身につけている。 b:太陽系と宇宙について探究する過程を通して、科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c:太陽系と宇宙について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	考査	考査 ノート	課題 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度